



発行：NPO法人みのお山麓保全委員会 平成29年(2017年)冬号

豊かな自然の恵みと自然災害の脅威、災害に強い森づくり



身近にある箕面の豊かな自然。四季折々に美しい山なみ景観や箕面大滝などの渓谷美。



撰津名所図会は、江戸時代に発行された撰津国の旅行案内書です。ここでは、山全体に松が描かれ、鴨長明の箕面の松の和歌(1310年に収録)が添えられています。18世紀末の滝付近の山は、主に松林だったようです。一方、箕面川の渓谷にはカエデが茂り、江戸時代の半ばから紅葉の名所となっていました。

18世紀末、撰津名所図会(せつつめいしよずえ)の「箕面瀧」

瀧安寺領の山林の一部は、明治の初めに東京の高尾山と並び、日本初の「公園地」となりました。瀧道を中心として、渓谷観光地として自然が保全され、大滝にいたる一帯は、都市近郊の自然豊かな地として有名になりました。また、滝道周辺は、府営箕面公園、名勝・箕面山、風致地区となり、昭和42年(1967年)には広く明治の森箕面国定公園となりました。



箕面公園滝道/石子詰付近 台風21号による被害(10/23写真) 斜面上部約50m(自然林)の土砂崩れが発生しました。滝道沿いの倒木、道のひび割れなどにより通行止め。

箕面の豊かな自然は、自然環境が保全される中で、行楽・観光地として多くの人々が訪れる他、みどり豊かな住宅地として、私たちに恵みをもたらしてきました。一方で、時に自然は、私たちに大きな脅威を与えます。恵みをもたらしてくれる自然と、災害をもたらす自然にどのように付き合っていけばいいのでしょうか?

左岸(中千本)の散策路も崩落し通行止めとなりました。

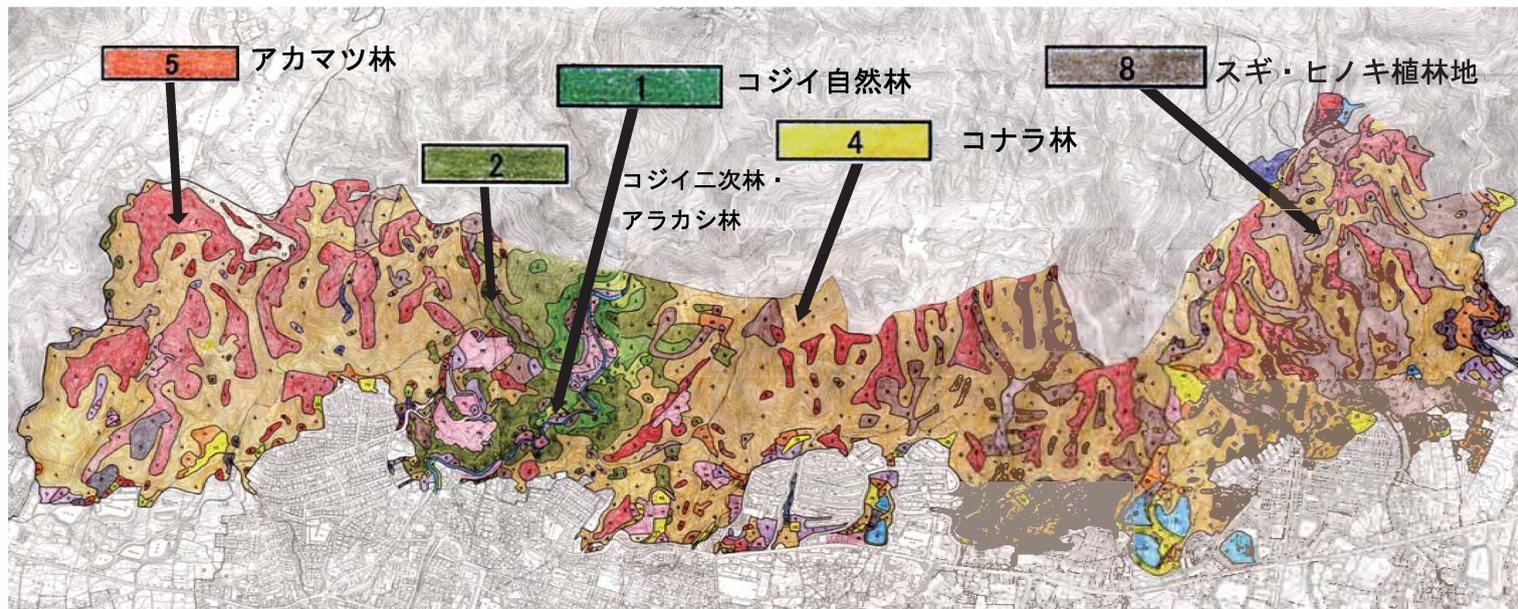
最大瞬間風速：北北西の風36.5m(10月23日1時47分)

※大阪管区気象台(豊中)・・・日最大風速は年間1位を更新

10月22日夜から23日明け方にかけて、日本の南の海を北上した超大型台風21号は、大雨を伴った暴風となり風の影響による倒木が各所で発生しました。滝道では土砂崩れが発生し、観光シーズンにもかかわらず大滝までの通行が出来なくなるという大きな被害が発生しました。

箕面の特性(急峻な地形や植生など)を理解し、行政を含めた地域が一体となって、災害に強い森づくりを進めていく必要があるのではないのでしょうか。

箕面の山麓部の森林植生



参考図：山麓の植生調査報告書※2005～2006年調査

上記の植生調査報告書では、かつては箕面山麓全体を覆っていたアカマツ林が既に大幅に減少し、コナラ林などの夏緑林（落葉広葉樹林）に大きく変わっている実態がプロズアップされました。その後十数年経過し、アカマツ林が更に減少し、コナラ林の多くでも、下層からソヨゴ・アラカシ・ヒサカキなどの照葉樹（常緑広葉樹）が台頭、このまま放置しておくと、数十年後には、四季の変化の少ない暗い森になる可能性が予測されます。

《主な植生タイプ》

アカマツ林(常緑針葉二次林)

主に尾根沿いや斜面上部に分布。かつて最も広範囲に分布していたが近年、マツ枯れなどで大幅に減少。

コジイ自然林(常緑広葉樹林)

社寺林として残されてきた照葉樹林。瀧安寺周辺で広く分布。大宮寺の森や素戔鳴尊神社にも分布。

コジイ二次林・アラカシ林

瀧安寺周辺のコジイ自然林を取り巻くように広く分布。アラカシ林は人の立ち入りが困難な急傾斜地に分布。林内は暗く表土は不安定。

コナラ林(夏緑二次林)

かつて薪の採取・落ち葉かき・下刈りといった薪炭林として長年利用されてきた結果、山麓部で広く分布。近年、放置されたことにより、下層で照葉樹の優占度が高くなっている。

スギ・ヒノキ植林地

主に山麓東部に分布。スギは水分条件に恵まれた斜面下部沿いに、ヒノキは斜面中部から上部などに植林されている。多くは間伐が行われず、密生して林内が暗く土壌が荒廃。

《植生(樹林)管理の方向性とゾーニング》

山麓部の植生タイプや土地所有区分、地形(傾斜)、希少生物種分布などに配慮し、目標植生(樹林)像を描くと共に広く合意形成を図り、長期的な視点で評価を行いながら、植生管理を進めることが必要でしょう。概ね、山麓部を下記のようなゾーンに区分し、各々の特性に応じた管理に配慮することが望ましいと考えられます。

①自然保護ゾーン(照葉樹林や貴重な生物生息地)、②自然推移ゾーン(傾斜30°以上の急峻地)、③樹林手入れゾーン(30°以下の緩傾斜地の落葉広葉樹林、アカマツ林、スギ・ヒノキの植林地や竹林)、④林間公園エリア(里山環境を生かした公園)

また、箕面市森林整備計画では、森林整備の推進方向として①水土保全林(水源かん養と山地災害防止)、②森林と人の共生林(生活環境保全と保健文化機能)、③資源循環利用林(木材の生産機能重視)の三つに区分しています。

箕面の山麓部の地形

山麓部はおおむね傾斜が急で平坦地が少ない地形です。「傾斜が緩いところ(15°未満)」、「傾斜がきついところ(15°以上30°未満)」、「傾斜が非常にきついところ(30°以上)」で区分すると、それぞれ約1/3程度の割合です。大阪平野から北摂山地をながめると、山が屏風のように見えますが、この山地から流れてくる川が、急斜面を通過して南北に深いV字谷を刻んでおり、谷では、箕面大滝の他にも大小の滝が見られます。

山麓部の主な川は、西から石澄川や箕面川(猪名川に合流)、オケ原川、鍋田川、唐子川(千里川の上流)、東部に勝尾寺川及び裏川や茨木川に合流などが流れており、箕面渓谷(箕面川)、如意谷(鍋田川)、谷山谷(唐子川)

ウツギ谷(上賀川の上流)、粟生間谷(勝尾寺川沿い)などの渓谷が刻まれています。

箕面市の防災マップでは、人家や道路に近く、地形や過去のデータから土石流の危険がある場所や30°以上の傾斜地などのうち、土砂流やがけ崩れなどの被害が出るおそれのある場所を、土砂災害の危険区域として示しています。

台風による被害が大きかったスギ・ヒノキの植林地



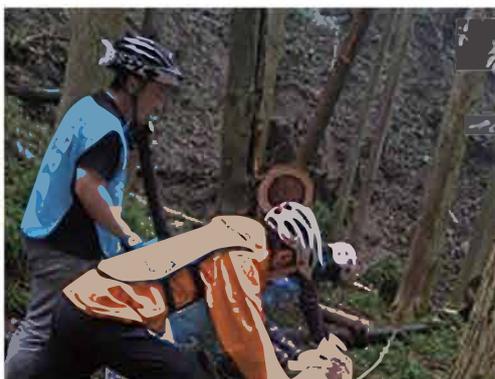
ウツギ谷 溪流沿いのスギの倒木



谷山谷(唐子川沿い)のスギの倒木



根から倒れたスギ(ウツギ谷)



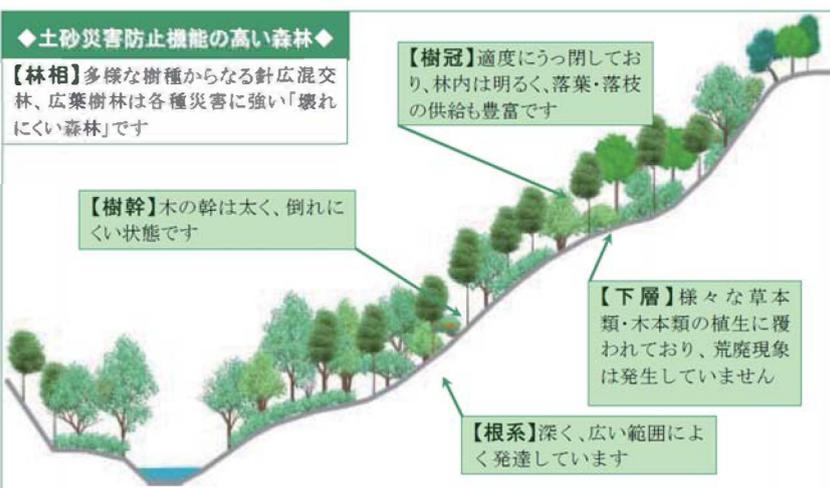
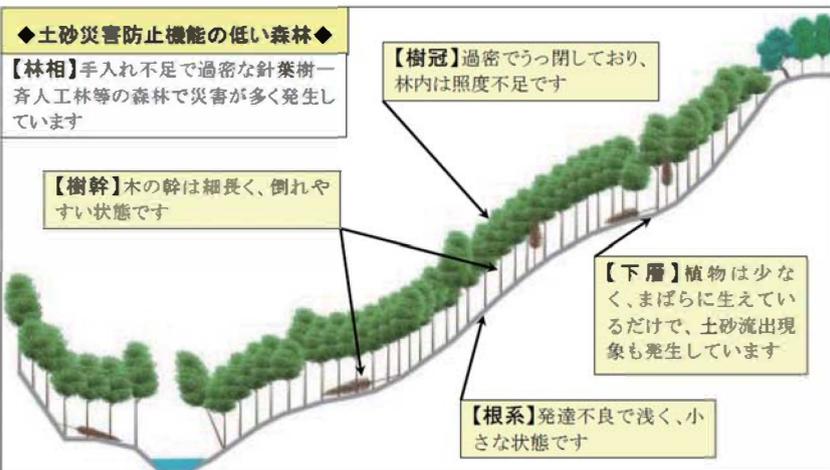
箕面マウンテンバイク友の会による
ウツギ谷林道、倒木の応急処理

台風 21 号の暴風で、大規模な**土砂崩れ**が箕面公園右岸の滝道や左岸散策路で発生した他、箕面ドライブウェイ(浄水場北)でも一時、通行止めになるなどの被害が出ました。明治の森箕面国立公園でも、自然研究路 2・4・6 号線、ようやく台園地～落合谷も**通行止め**になった他、教学の森やオケ原周辺などでも多くの倒木被害が発生しました。

中でも、南北に走る谷の溪流沿い、**スギの植林地**(ウツギ谷など)の倒木被害が目立ちました。根から倒れており、根が浅く発達していないように見えます。

ウツギ谷や谷山谷では、箕面マウンテンバイク友の会が倒木を玉切りし除去するなど、市民団体による応急対応がされました。

災害に強い森づくりを進めましょう！



出典：長野県 災害に強い森林づくり指針

身近にある豊かな自然は、私たちのかけがえのない**恵み**であり、大切な財産ですが、時に自然は私たちに**脅威**を与えます。災害に強い森づくりをどのように進めていけばいいのでしょうか？

ウツギ谷に見られるように、市の東部には、過去に植林された**スギ・ヒノキ林**があり、その麓には多くの住宅があります。この人工林は、生産林としての活用がされておらず、放置されています。手入れが不足しているスギ・ヒノキの人工林では林内が暗く、下草も少なく、**土砂の流出の恐れ**があります。また、過密状態の人工林は、木の幹が細く、根も発達しておらず、台風などによる暴風により**倒れやすい状態**だといえるでしょう。

土砂災害防止機能の高い森林は、林内が明るく落葉・落枝の供給も豊富です。下層では、様々な植生に覆われており、荒廃現象は発生しません。木の幹は太く、根は深く広い範囲に発達し、倒れにくい状態となります。多様な樹種からなる**針広混交林**や管理がされた**広葉樹林**が**災害に強い森**であると考えられます。スギ・ヒノキ林でも間伐などが行われ、**適正密度**に**誘導**されると、災害に強い森になるでしょう。

公益信託「みのお山麓保全ファンド」 平成30年度助成2月期募集

公益信託「みのお山麓保全ファンド」は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り・育て・活かすために、山林所有者や市民の活動を資金面から応援（助成）する仕組みです。

NPO山麓委員会は、市民や山林所有者の活動支援や「みのお山麓保全ファンド」の助成を活用した活動の相談、助成申請の受付などを行っています。お気軽にご相談ください！

◆申請受付期間：

◆助成対象となる事業の期間：

平成30年2月1日（木）～2月28日（水） 平成30年4月1日～平成31年3月31日

◆助成金額： ○一般助成・・・1件あたり25万円以内※特別助成（ハード整備）・・・1件あたり25万円超

◆助成の流れ：申請受付（2/1～28）⇒運営委員会で助成決定（3月下旬）⇒助成（5月下旬ごろ）

*申請書式等は、ホームページ（検索：山なみネット）をご参照ください。

*申請書の書き方や相談など、お気軽にNPO山麓委員会事務局までご連絡ください。

平成29年度 みのお山麓保全ファンド 一般助成の実績

○山林所有者（自然緑地等指定同意書提出者）による活動を助成

件数：71件、金額：6,818,500円を助成 新規「自然緑地同意」3件

山林整備サポート（ボランティアによる山の手入れ）要請件数：39件

○市民団体等による活動を助成

件数：20団体、金額：2,926,985円を助成



団体名	保全活動	助成金額
みのお里ぷら	里山林の手入れ（教学の森/六個山）、山林所有者へのボランティア派遣	¥40,600
しおんじ山の会	防鹿ネット設置による植生回復、山の幸作り、子ども達が遊べる環境作り	¥170,000
箕面の森の音楽会実行委員会	瀧安寺前広場での音楽会、山麓保全活動のPR・広報や募金活動	¥190,200
箕面だんだんクラブ	竹林の除・間伐（再生）、クヌギの植林、間伐材の活用、竹炭作り	¥250,000
箕面の山パトロール隊	不法投棄パトロール、クリーンハイキング、箕面山の自然情報発信	¥250,000
とんど山桜園の会	伝統的な里山文化（めんぎょ）の開催、里山桜園の整備	¥103,985
みのおエコクラブ	親子のふれあい体験学習広場の運営、農作物の育成や観察・講演会	¥250,000
かやの中央まち育て交流会	伝統行事（まんどろ）の復活、まんどろ火祭りの開催	¥250,000
杜の会	外院・石丸の民有林の整備（除・間伐、倒木整理、枯れ草収集など）	¥25,000
外院の杜クラブ	小学生の「森の授業」（シイタケの植菌、ホダ木の観察など）	¥10,000
みのお竹林クラブ	土壌改良によるタケノコの味覚向上、間伐材を活用したキノコ育成	¥68,000
みのお森のふれあい広場運営委員会	滝道「森のふれあい広場」での自然情報などの発信、イベントの実施	¥150,000
箕面ホタルを守る会	箕面川全域のホタル情報の収集と保全策の検討	¥10,000
高田 博光	明治の森箕面国定公園の四季、植物や生き物などの写真展の開催	¥240,000
角谷 正朝	箕面市内の溜池に生息するマミズクラゲの研究、調査、実験・観察など	¥250,000
里山散策路をつくろう会	山麓の裾野と周辺に里山散策路を作る活動、調査・選定、イベント実施	¥80,000
昆虫科学教育館	こども自然科学教育活動。小学校や施設での講演、観察会など。	¥250,000
箕面ナチュラルリストクラブ	箕面の自然の紹介、生物多様性保全のための展示会・講演会の活動	¥140,000
Vitalink（ヴィタリンク）	山の問題を楽しく学ぶための自然体験プログラムの企画と運営	49,000
箕面マウンテンバイク友の会	マウンテンバイクの山麓部でのモラルやマナー向上、清掃活動など	¥150,200

みのお山麓保全ファンド募金実績

期間：平成29年1月～11月

計 ¥1,020,303

▽箕面の森の守りびとと会員	嶋村葉子さま他 個人の会員	¥212,000
▽企業からの募金	阪急電鉄・阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト	¥195,559
▽団体からの募金	森の音楽会・だんだんクラブ・箕面の山パトロール隊など	¥62,879
▽募金支援 自動販売機	箕面ネイチャールーム・大阪観光	¥58,612
▽ゆずるの足湯募金	滝道ふれあい広場（大阪観光）	¥53,413
▽DVD募金・イベント募金	スライショーDVD募金・山とみどりの市民イベント	¥83,447
▽募金箱 その他	募金箱、インターネット募金（GIVEONE）その他	¥71,393
▽箕面市の「ふるさと寄附金」（山麓保全）		¥283,000

NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001 箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室

電話&FAX:072-724-3615 携帯電話:090-1133-3615

メール:yama-nami@yama-nami.net

ホームページ:www.yama-nami.net(検索:山なみネット)

*箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

